

平成23年度静岡市協働パイロット事業報告書

障害者を活用した学校ネットパトロール事業
～就労移行支援プログラムとしての可能性を探る～

パソコンわかばくらぶ

1. 事業の趣旨・目的

障害者（障害者手帳を所持する者で、障害福祉サービス事業所に通所している者に限る）がネットパトロール員となり、学校の有害情報等を巡視し、学校に報告をすることで、子どもをインターネット上の有害情報から守ると共に、現状の把握と不適切な書き込みの削除等を通し教員のスキルアップを目指す。また、障害者に日常業務や社会参画への足がかりを掴んでもらうことを目的とする。

2. 事業の概略

2-1. 学校ネットパトロール：

障害者がネットパトロール員となって、不適切な書き込みや個人情報の流出などの巡視を行う。会場は就労移行支援施設のパソコンルームを利用し、3人一組で1校を担当。日程は毎週金曜日午前にネットパトロール、午後に報告業務を行う。

パトロールの方法については、あらかじめ高校生からキーワードやサイトなどの助言をもらい、効率のよいパトロールを目指す。

- ①プロフ、掲示板、学校裏サイトをキーワードで検索する
- ②問題のあったサイトを集約し、報告資料を作成する
- ③教頭先生に報告書を提出し、生徒指導担当の先生へ報告する
- ④次回報告時（1ヶ月後）に指導内容など経過報告を受ける

2-2. 就労移行支援プログラム

障害者がパトロール業務や資料作成などを通して就労する上で必要な応用力やコミュニケーション能力を身につける

- ①パトロール研修（キーワード検索の方法）を指導する（パソコンわかばくらぶ）
目的：情報モラルについての基本的な知識と、検索方法の習得
- ②問題のある発言やサイトに関する報告資料を作成する（パトロール員）
目的：資料作成を通じた思考力と応用力の養成
- ③学校への報告及び学校からの報告を受ける（パソコンわかばくらぶ、パトロール員）
目的：報告業務を通じたコミュニケーション能力の養成

2-3. パトロール員の構成およびパトロール実施について

①パトロール員

■Aさん

精神保健福祉障害者手帳2級所持、障害者福祉サービス事業所「フリーダム」通所。

日本語ワープロ検定2級、文書デザイン2級、情報処理技能検定2級(表計算)。

■Bさん

療育手帳B級所持、障害者福祉サービス事業所「フリーダム」通所。

日本語ワープロ検定準1級、情報処理技能検定1級(表計算)、2級(データベース)。

■Cさん

身体障害者手帳6級所持、療育手帳B級所持、障害者福祉サービス事業所「フリーダム」通所。

日本語ワープロ検定2級、文書デザイン1級、情報処理技能検定3級(表計算)。

②実施校及び回数

静岡市立安東中学校 3回(11/22、12/13、2/13)

静岡市立城内中学校 3回(11/25、12/9、2/24)

静岡市立高松中学校 3回(11/25、12/16、1/13)

静岡市立城山中学校 3回(11/25、12/16、2/17)

静岡市立清水飯田中学校 3回(11/11、12/2、2/3)

静岡市立清水興津中学校 3回(11/11、12/2、2/3)

③事業フロー図(別紙1)

④学校ネットパトロールの流れ(別紙2)

3. 成果

3-1. 実施校における成果

①現状の把握

実施校での成果に触れる前に、市内中学校へ学校ネットパトロールの希望を募った結果を報告しておく。今回は43校に呼び掛け13校が希望した。これは当初の予想を大きく上回る結果で、4校で提案していた事業内容を教育委員会からの要請で6校に増やした。山間部（生徒数100人以下）の中学校を除けば、36校中13校、約1/3の学校が希望しており、教育現場で学校ネットパトロールが求められている実態が明らかになった。

次に教員について述べると、教員は日頃の業務に忙殺され、必要性を感じていてもネットパトロールに時間を割くことはできない。清水区の中学校について言えば、セキュリティの関係で有害情報を確認できる環境すらない。ましてや彼らが業務を離れて自宅でパトロール（検索作業）することもなく、実際の画面を初めて見る教員もいた。

今回の事業ではその部分を代行してもらえたこと、情報を得られたことに対し感謝の言葉を多くいただいた。また問題がないと思っていた生徒が思いがけずリストに挙がることもあり、教員は生徒の意識の低さやネット社会への依存度の高さを再認識した。生徒の顔写真などを掲載しているのを目の当たりにし、教員の中にも意識の変化があった。

一方、目の前の生徒指導で手一杯の学校では、ネットパトロールでの報告数も多く生徒指導が負担になる学校もあった。

表1. パトロールで報告された件数（重複分を含む）

誹謗中傷（軽微なもの、前後の書き込みを含む）	143件
なりすまし	5件
個人情報の流布	107件
非行	2件
総件数	287件

②早期発見による生徒指導の効果

生徒指導は問題が顕在化してから行うことが多い。が、ネットパトロールを通して指摘される生徒は潜在的に問題をはらんでいる。今回はその問題をいち早く発見することができ、トラブルが発生する前に対応することができた。

顔写真や学校情報など個人を特定できる情報を掲載している生徒も数多く報告され、個人情報の掲載に対する危険性を指導する好機となった。その結果、パトロールを通し個人情報の流布は81件報告されたが、指導後43件が改善された。

【具体的な事例】

パトロール時に「リストカット」のブログ記事を投稿している生徒を発見。報告会が少し先だったため、教育委員会を通して学校へ連絡する。

学校で保護者やカウンセラーを交え、生徒指導を行う。指導が奏功し、生徒は過去の記事を削除し前向きな記事の投稿のみを心がけるようになった。また実社会においても前向きに登校している。

③情報教育以外の生徒指導における成果

現代の中学生は環境の変化（通塾や携帯電話など）により友人関係が広域化している。特に校外での非行では他校生徒が関わっていることも少なくない。

実際にパトロール期間中実施校でもそうした場面があった。その際、パトロールを通して得られた情報（他校の生徒との交遊や容姿の把握）が有効に活用されたと言う。あらかじめ情報を持っていることが有事の際の迅速な対応に役立つのである。

④第三者の目による抑止効果と緩衝効果

第一にネットパトロールは生徒指導時のキッカケになる。「ネットパトロールで」または「外部の方からの通報」という会話の滑り出しがスムーズな生徒指導を可能にしたと言う。

またこの間接的な伝達が指導に効果的である。というのも一般的に教員対生徒、教員対保護者という二者間で直接的な伝達方法が用いられる。しかしこの方法は場合によって反発される。それが、第三者（外部）が間に入ることにより反発を和らげ受け入れてもらいやすくなる、ネットパトロールが緩衝材の役割を果たすのである。

最後に生徒の他者の目を意識した書き込みと意識改革である。前述の通り、学校内では生徒と教員（学校）の二者である。それが外部を交えた三者になることで、生徒は学校という基準ではなく世の中の基準を知る、気づきのキッカケとなった。

3-2. 障害者における成果

①パソコンスキルの活用とスキルアップ

ネットパトロールを通し、彼ら自身の情報モラルに対する意識が高まった。書き込まれた内容を読む作業にも相当の集中力と忍耐力が必要だったが、よくがんばってくれたと思う。

報告書の作成ではこれまでの授業で習得したパソコンスキルが活かされていた。パトロール員の一人は、当初画像編集でフォトショップ（画像編集ソフト）を利用していたが、「ペイント（画像編集ソフト）を利用した方が早い」と助言すると、その助言を素直に受け入れ作業効率も上がった。

しかしネットパトロールは最初から上手にできた訳ではない。始めた頃はなかなか思うような掲示板を探せずパトロール員のフラストレーションも溜まった。そのため施設職員と改善方法を検討し、こちらであらかじめ探しておいて掲示板へ導く方法に変更した。そうしたところ、「見つけられた」という達成感を得られるようになり、モチベーションも上がった。

終了間際にはパトロール及び報告書の作成も定型化し、パトロール員は少ない指示で作業ができるようになった。先生方にも好意的に受け止められ、パトロールの結果及び報告内容は高い評価（大変満足3校、概ね満足3校）を得ている。

<パトロール員からの感想より一部抜粋①>

中学ネットパトロールの感想は、ネット上で、色々(悪口)などの書き込みが存在する事に驚きました。画面を見て、目が痛くなったけど、良い書き込みもあったけど、他人の悪口や、他人の事を掲示板に出すのは余り良くないのではと、ネットパトロールをやっている時に、思いました。

②社会参画への足掛かり

今回のパトロール員は、パソコンスキルは高いが、施設外での実習が初めてだったり精神的にやや負担を感じる者だった。そのためパソコンに向かって作業に問題はないが、教員と対面で行う報告作業までを行えるかがお互いに不安であった。

パトロール員の一人は精神的な負荷を考慮し報告会への参加見合わせも考えたが、本人の意向もあり報告会へ同席してもらった。課題は残したものの、無事に最後までやり遂げられたことが収穫だった。授業を通してこれまでほとんど表情に変化の見られない彼女が、時折笑顔を見せる時もあった。

彼らの障害を理解し時間を掛けて関係を築いていけば、健常者と同じように働ける。彼らにそんな自信を持ってもらえる実習になったと自負している。“学校”という実習の場はパトロール員にやや特異にも受け止められたが、学校だからこそ温かく見守っていただき、最後まで実習を行うことができたと考える。

<パトロール員からの感想より一部抜粋②>

このような形で中学校を訪問するのも初めての事でしたので、いろいろ心配もあったのですが、中学校の先生方にもやさしく対応していただき、また、お礼の言葉を頂けたのは、大変嬉しく感じております。

試験的な活動で終了してしまうのは、とても残念ですが、この活動が、今後の中学校の教育に少しでも示唆を与えられたらと、願っております。

<パトロール員からの感想より一部抜粋②>

まず、一つ目の「得難い経験」についてですが、これは、中学校を訪問して、教頭先生などとお会う事です。

今までは、教師と生徒という間柄でしたが、今度は、対等な関係で接することになりました。

そこで、いろいろと会話をしたりするのは初めての事で、得難い経験だったなあと思っています。

③業務で求められる応用力へのサポート

今回のパトロールで工夫が必要だった点は、検索キーワードの発想力や連想力の不足をどう補うかであった。

不足の理由として考えられるのは「障害の症状である点」と「経験知の少なさ」である。またパソコンわかばくらぶがそれを補うだけのノウハウを持っていなかったため、パトロール開始時に苦労した。更に今回はパイロット事業ということで施設のビジネスITの授業を利用したため、本事業に関わるパトロール員以外のサポートにも時間を費やすことが多かった。

パトロール員のみならず互いに経験を増やすことで克服できる課題である。より手厚いサポートを行うため、パソコンわかばくらぶで活躍しているサポーター（市民ボランティア）を活用したマンツーマン・サポート体制で臨めば緩和されると考える。

④コミュニケーション能力の養成

本事業では報告業務を通じたコミュニケーション能力の養成までを狙ったが、この点は達成することができなかった。理由は、「パトロール時間が短すぎてパトロール員が業務の一部しか担えなかったため」、「その状況で彼らに説明をしてもらうには精神的に負荷が掛かり過ぎるから」である。

負担を緩和するため、台本を作成し報告の進行を手伝ってもらう試みもした。しかし彼らの理解を得られず、彼らを主体にした報告会にすることはできなかった。ただ話の流れから彼らに説明を求める場面では説明することができていた。もう少し時間を掛けて行えば可能であるという手応えは感じている。

電子メールを利用した報告業務という方法もある。最初から対面でのコミュニケーションが難しい場合、まず非対面での方法で報告し、慣れてきたらそれ（メールの報告文）を報告会で音読するなど段階を経えていけば円滑なコミュニケーションが行えるようになると思う。（施設では授業用に設定されており、外部へメールを送ることができない。）

この目的を達成するためには、彼らの精神的な負担も考慮し、報告方法をマニュアル化するなどの工夫と時間が必要だった。

3-3. ネットパトロールの結果に見る傾向

①生徒指導の必要な生徒

今回のネットパトロールで生徒指導を求めた件数は81件であった。内容は「個人情報の流布（プロフィールサイトへの顔写真の掲載など）」を中心に「なりすまし」「非行」などが報告された。

生徒指導が必要な件数は生徒数に対して2.7%、学校別にみると0.6%から5.0%であった。(表. 2参照) 今回の結果からいえば、概ね生徒数の3%前後が生徒指導を必要と推定される。

表. 2 全校生徒数と指導が必要だった件数

	安東	城内	高松	城山	飯田	興津	全体
生徒数	684	510	543	306	597	370	3,010
指導数	4	18	15	5	30	9	81
指導数の割合	0.6%	3.5%	2.8%	1.6%	5.0%	2.4%	2.7%

※指導数は、複数のサイトで報告される生徒がいるため人数ではなく件数とした。

報告が少なかった学校についても、顔写真が掲載されていないだけでプロフィールサイトやブログ（日記）を開設している例は多数あった。またブログに書かれている記事を読むと、心情を吐露したり感情をぶつけている生徒も少なくない。この場合、閲覧制限が掛けられるにも関わらず掛けていないケースもある。これは「誰かに聞いてほしい」「誰かに言いたい」という心情の表れであり、その“心の叫び”に耳を傾ける必要がある。場合によっては人命に関わることもある。定期的な巡視を行い、子ども達を見守る必要性を感じた。

表. 3 気になったブログ記事例

タイトル	内容
久しぶりのリスカちゃん	リストカットや心情について
噂	学校でされている自分の噂について
殺して下さい	部活でのトラブルや心情について
「〇〇〇〇」「〇〇退部の危機 www」 (〇〇〇〇は実名)	部活が同じ友人に対する悪口（実名）

②改善率

次に生徒指導の結果について述べる。今回は指導を求めた81件に対し43件に改善が認められた。改善率は全体では53.1%である。

学校別にみると、やや二極化している印象を持った。安東、城内、城山中学校が70%以上の改善があったのに対し、高松、清水飯田中学校は50%以下であった。(表. 4参照)

改善率の違いの根本的な理由は学校により事情(課題)が異なるからであるが、結果(数字)だけから言うとパトロールに関与する教員数や中心となる教員の属性に差異があった。改善率の高い学校ほどより多くの教員が関与し、情報担当教員を中心にした方が指導効果の高い結果となった。

表. 4 対応教員数及び中心教員の属性との関係

	安東	城内	高松	城山	飯田	興津	全体
指導教	4	18	15	5	30	9	81
改善教	3	13	6	4	12	5	43
改善率	75.0%	72.2%	40.0%	80.0%	40.0%	55.6%	53.1%
対応教員数	2	3	1	3	1	2	
中心教員	情報	情報	生徒指導	教頭	教頭	生徒指導	
有害情報の把握	十分 できた	十分 できた	ある程度 できた	十分 できた	ある程度 できた	ある程度 できた	
閲覧、削除依頼 への理解度	十分 できた	十分 できた	ある程度 できた	十分 できた	ある程度 できた	ある程度 できた	

※中心教員は事後アンケート回答者。

③有害情報に対する取り組みの姿勢

最後に各校のネットパトロールに対する取り組み方について触れる。

事後アンケートを行ったところ、改善率の高い学校とそうでない学校では対応教員数、情報担当教員の参加／不参加、家庭での指導、希望回数に違いがあった。改善率の高い学校の方がすべてに対しポジティブであった。

こうした取り組みの違いが改善率の違いにも影響している。各学校の抱える課題は異なるが、学校全体で、家庭を含めた取り組みをお願いしたい。

表. 5 改善率とネットパトロールに対する取り組み

	安東	城内	高松	城山	飯田	興津
指導数の割合	0.6%	3.5%	2.8%	1.6%	5.0%	2.4%
改善率	75.0%	72.2%	40.0%	80.0%	40.0%	55.6%
家庭での指導	今後検討	有り	無し	有り	無し	無し
希望回数	5	6	3	5	3	3
次年度の希望	有り	有り	有り	有り	無し	無し

4. 課題と提言

①生徒指導の一本化

事前にヒアリングを行い各校の希望に沿ってパトロールを行ったが、静岡市として一定の基準を設けて行った方がよいという印象を持った。例えば自分のプロフィールサイトに写真を掲載している生徒がいる場合、どこまでが可でどこからが不可なのかなど線引きが不明瞭であったり、学校の対応にバラツキが見られた。

各校の抱える問題が違うので一様には言えないが、静岡市としてのパトロール基準、指導マニュアル作りが望ましいと考える。

また今回は希望校を募って行ったが、今後は教育委員会が主導し市内のすべての中学校で行うことを提案する。そうでない（各校任せにする）と、前述の通り積極的な学校とそうでない学校で格差が生じる可能性がある。できるだけ等しく、子ども達を見守る体制を作りたい。

②新しい技術や流行への対応

今回は「キーワード検索で検索できるサイトや情報」「パスワードが設定されず公開されているサイト」「パソコンで閲覧できるサイト」を対象としたが、実態として対象外の有害情報も多い。技術の進歩と生徒の反応も早く、モバゲー、グリー、ミクシィ、フェイスブック、ツイッター、スカイプなどを利用している生徒もいた。

高校生にも助言をもらってパトロールを行ったが、彼らの経験も過去のことという印象を持った。新しい技術や流行への対応が課題である。

③情報環境の整備

問題のあるサイトをストレスなく閲覧できる環境が必要である。特に清水区の学校ではセキュリティの関係でこうしたサイトを閲覧することができない。教育委員会からもパイロット事業実施中にパソコンわかばくらぶへ情報確認の依頼があった。

少なくとも各校1台くらいは自由に閲覧できる環境の整備をお願いしたい。

④障害者の参加の仕方

今回はパイロット事業ということで授業（ITビジネス）を利用したが、今後行う場合は就労移行支援プログラムの一環（外部での実習（企業研修））として行うことを提案する。教育委員会からパソコンわかばくらぶへ学校ネットパトロール事業を依頼し、その作業に障害者が実習として参加する形で行うのがよいだろう。

本事業に参加できる人材は能力が高く、就労への道のりもあとわずかである。この経験を糧に社会へ巣立つ力をつけてもらいたい。

⑤関係セクションとの連携

パトロールをしている中で生徒の不適切な発言（パトロール実施校以外で）に対し、運営者と思われる者からこういう書き込みがあった。

「当サイト掲示板に個人情報を書き込まれた件で静岡県警察本部生活安全課よりアクセス情報提示の依頼がありましたので、任意で提出させて頂きました。」

真偽はわからないが、もし警察でこうした情報を得ているのであれば、学校または教育委員会へ通報するのが望ましい。（書き込みは、教育委員会を通して学校へ連絡し、学校から削除依頼をしてもらった。削除確認済み）

市内の動向や学警連での情報共有を求める声もある。互いに連携し、子ども達を守る体制を整える必要がある。

⑥予算の確保

本事業は事業継続を求める声が多いが、協働事業を行っているあるいは必要性を認識した時点での予算確保は難しく翌年度の実施は厳しいのが現状である。

市民活動団体が提案する課題は現代的な課題が多く、協働パイロット事業で評価されるのもそうした新規性のある事業だと考える。であるならば、事業として必要だと考えられた場合、行政の考えていた予算とは別の新規予算を確保しなければ次年度の実施は難しい。仮に次々年度以降の実施を期待するにしても、1年間の空白が事業を頓挫させる可能性が高い。

学校ネットパトロールは、昨年度11月教育委員会定例会議にて「学校ネットパトロールの導入支援について」が議論され、今年度はパイロット事業で成果を実感し、来年度は国の予算（青少年を有害環境から守るための取り組みの推進（2）地域の実情に即した有害情報対策事業【新規】（1／2補助））にも盛り込まれている中、足踏みしてしまうのは非常に残念である。

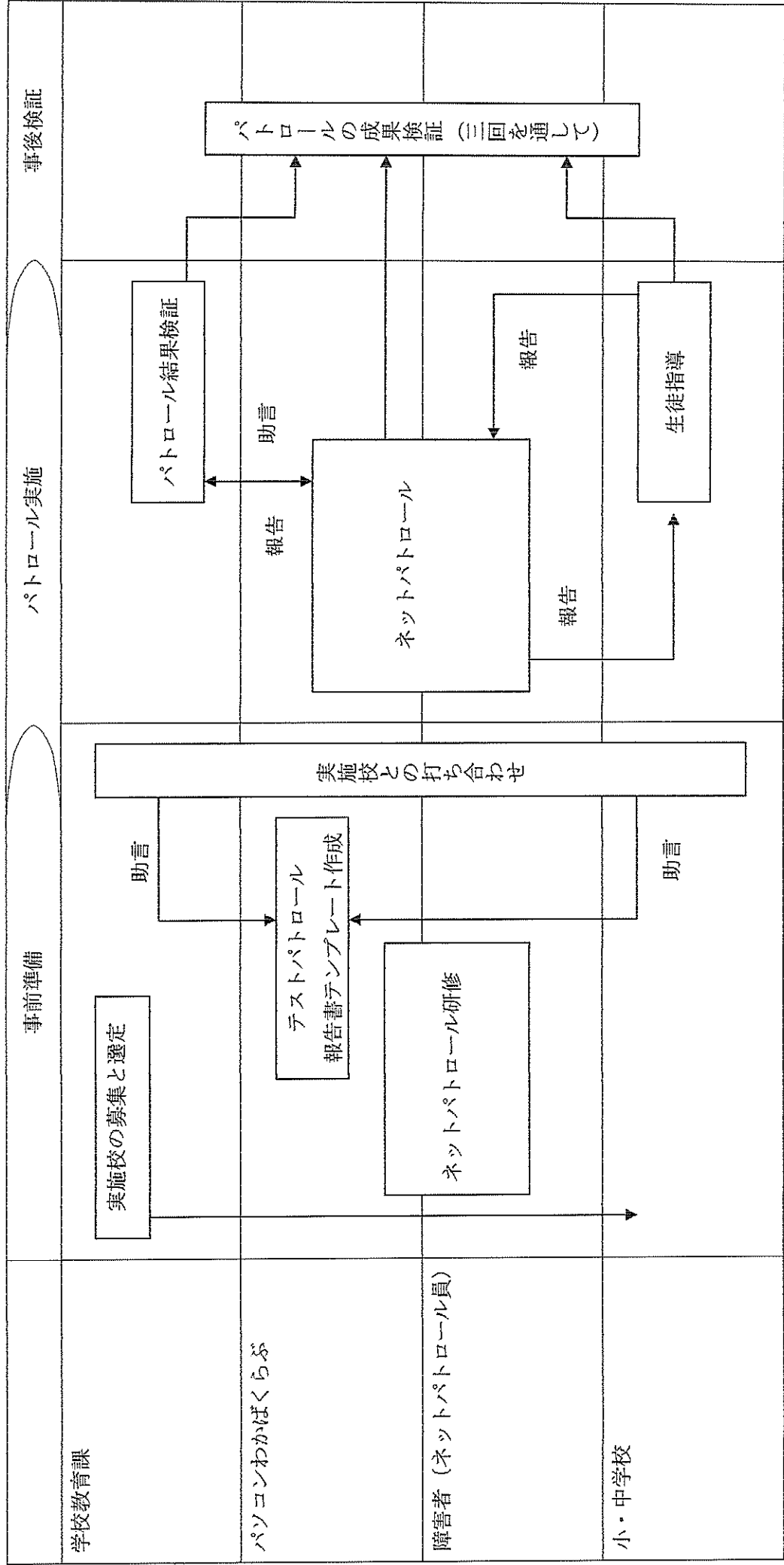
こうした事態を回避するため、協働パイロット事業で要望が強かった事業については複数年での実施や事業化に向けての具体的な支援や枠組み作りをお願いしたい。

最後に

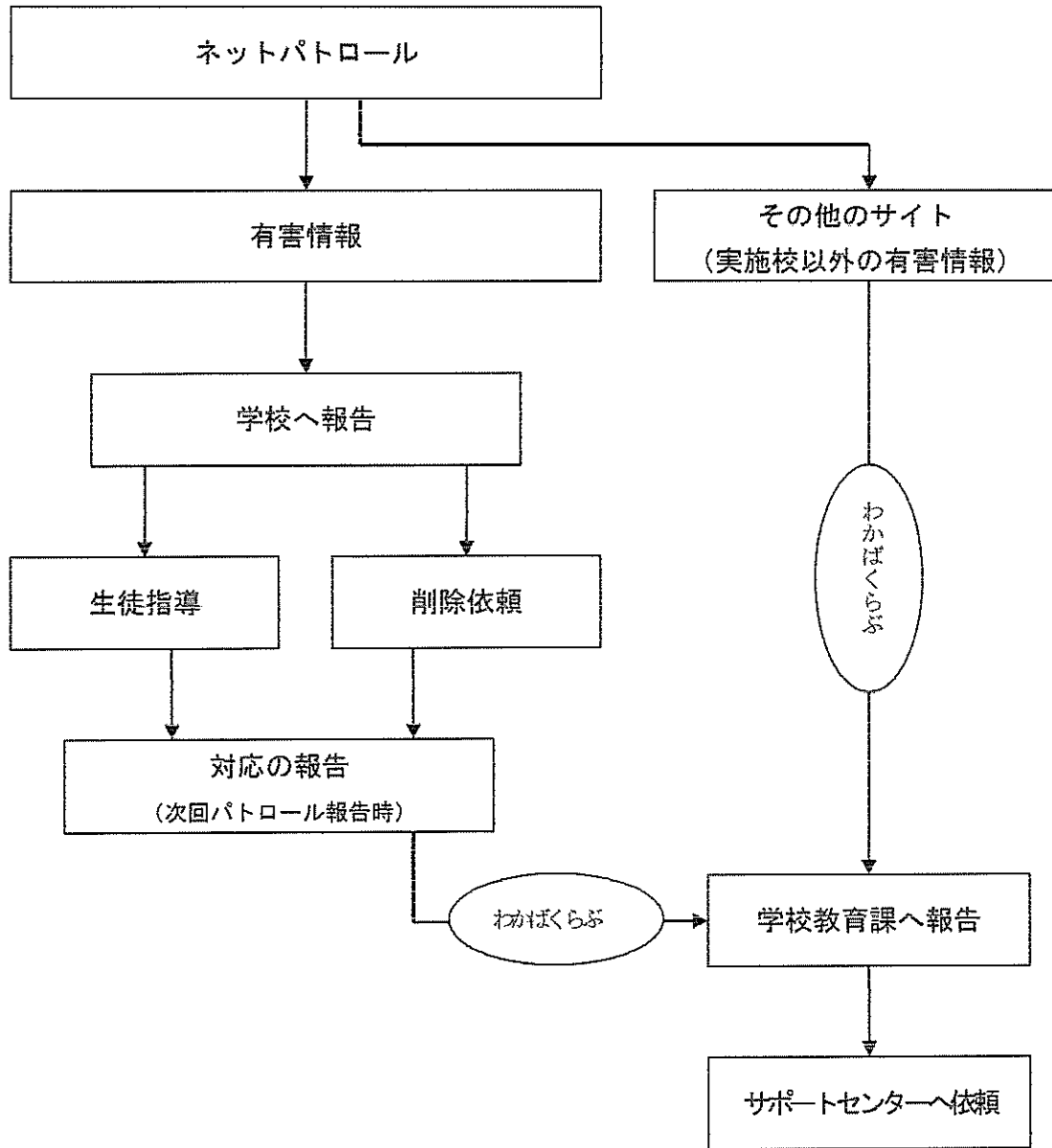
本事業に対してご理解とご協力を賜りました、静岡市教育委員会の皆様、静岡市障害者福祉課の皆様、実施校の教職員の皆様、就労移行支援施設利用者並びに職員の皆様、そしてこのような機会を与えてくださった静岡市市民生活課の皆様にご心よりお礼を申し上げます。

来年度以降の実施は不透明な情勢ではございますが、何らかの形で継続できるよう努力したいと考えております。引き続き変わらぬご支援の程、よろしくお願い致します。

【事業フロー図】



《学校ネットパトロールの流れ》



【スケジュール表】

	学校教育課	パソコンわかばくらぶ・障害者 (金曜日)	小・中学校
8月	実施校の募集	5日～ ネットパトロール研修 検索方法の習得 報告書作成練習 下旬 報告書テンプレート作成	
9月	実施校の決定	2日 テストパトロール① 9日 テストパトロール② 16日 パトロール方法の再確認 30日 パトロール①	26日 高松中、清水飯田中、 清水興津中事前打合せ 27日 城内中、安東中 事前打合せ 28日 城山中事前打合せ
10月		7日 パトロール② 14日 パトロール③ 21日 高松中、清水飯田中 あいさつ 28日 安東中あいさつ	
11月		4日 清水興津、城山中あいさつ 11日 清水飯田、清水興津 第一回パトロール 12日 高校生との打ち合わせ① 22日 安東中第一回パトロール 25日 高松中、城山中、城内中 第一回パトロール	
12月		2日 清水飯田、清水興津 第二回パトロール 9日 城内中第二回パトロール 10日 高校生との打ち合わせ② 13日 安東中第二回パトロール 16日 高松中、城山中 第二回パトロール	2日 清水飯田、清水興津 第一回指導報告 9日 城内中第一回指導報告 13日 安東中第一回指導報告 16日 高松中、城山中 第一回指導報告

12/6 意見交換会 (第一回の報告、修正点の検討など)

1月		14日 高校生との打ち合わせ③ 20日 高松中第三回パトロール	20日 高松中第二回指導報告
2月		3日 清水飯田、清水興津 第三回パトロール 17日 城山中第三回パトロール 24日 城内中第三回パトロール	3日 清水飯田、清水興津 第二回指導報告 17日 城山中第二回指導報告 24日 城内中第二回指導報告
3月	<div data-bbox="220 651 1027 712" style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 3/13 意見交換会（全体を通して報告、成果の検証など） </div>	上旬 報告書の作成	6日 安東中第三回指導報告 9日 清水飯田、清水興津 城内中 第三回指導報告 13日 高松中、城山中 第三回指導報告

平成23年度 ネットパトロール事業に関するアンケート調査の結果

	満足度	継続希望	希望実施回数	有害状況把握の有無	閲覧、削除依頼の理解度	問題生徒への指導内容	現状の改善程度	意見、感想等
安東中	たいへん満足	希望する	5回	十分できた	十分理解できた	・担任、主事が生徒を指導	かなり改善された	学校では検索している暇がなかなか取れないので、情報提供してもらったたいへん助かった。本人への指導で改善されるケースがほとんどだったが、場合によっては保護者への報告も視野に入れていきたい。
城内中	概ね満足	希望する	6回	十分できた	十分理解できた	・担任、主事が生徒を指導 ・集会で啓発 ・保護者にも指導を依頼 ・該当学級全体への指導	かなり改善された	効果的であり、未然に対応できたい。で、ぜひ次年度も継続していただきたい。
城山中	たいへん満足	希望する	5回	十分できた	十分理解できた	・担任、主事が生徒を指導 ・保護者にも指導を依頼	かなり改善された	生徒の何人かが携帯のプロフに掲載している事がわかり、未然に指導することができ、感謝している。本事業は、生徒を守るためになくてはならないもので、ぜひ継続してほしい。
高松中	たいへん満足	希望する	3回	ある程度できた	ある程度理解できた	・担任、主事が生徒を指導 ・集会で啓発	多少改善された	生徒たちが個人情報に関わるようなことに関して無頓着で、認識不足であることがわかった。 生徒に罪悪感がなく、指導してもすぐに改善するところまではなかないとつくづく感じた。
清水飯田中	概ね満足	希望しない	3回	ある程度できた	ある程度理解できた	・教頭が生徒を指導 ・集会で啓発	多少改善された	特になし
清水興津中	概ね満足	希望する	3回	ある程度できた	ある程度理解できた	・担任、主事が生徒を指導	多少改善された	提供していただいた情報をもとに該当生徒と安全な使用をするよう指導することができ、よかった。

評価シート
 評価は以下の4段階を参考に行います。

1...できない(できていない) 2...あまりできない(あまりできていない) 3...だいたいできる(だいたいできていない) 4...できる(できている)

大項目	中項目	小項目	具体的項目	評価
就労面における評価	作業スキル	正確性	正確な作業ができる	1 2 3 (4)
		効率性	工夫しながら作業ができる	1 2 3 (4)
		生産性	慣れると作業スピードが上がる	1 2 3 (4)
	理解力	指示の理解	口頭での指示が理解できる	1 2 3 (4)
		スケジュールの理解	一日のスケジュールが理解できる	1 2 3 (4)
		集中力	集中して作業に取り組める	1 2 3 (4)
	遂行力	忍耐力	途中で投げ出さず、作業に取り組める	1 2 3 (4)
		判断力	自分で状況を判断しながら作業できる	1 2 3 (4)
		感情のコントロール	無視・反発・拒否せず、指示や注意を受け入れることができる	1 2 3 (4)
	自己統制力	時間の遵守	始業・就業時間を守って作業できる	1 2 3 (4)
	モチベーション	意欲	働く理由、動機がはっきりしているか、働きたいと思っている	1 2 3 (4)
		状況判断	積極的に、作業に取り組むことができる	1 2 3 (4)
		安全管理	危険を認知し、回避することができる	1 2 3 (4)
	ネットパトロール	発想力	周りの人に危険がないよう、配慮して作業できる	1 2 3 (4)
		判断力	検索キーワードを選定することができる	1 2 3 (4)
理解力		検索結果から適当と思われるサイトを選択することができる	1 2 3 (4)	
対人スキル	事務力	掲示板などの内容を読み、リスクレベルを判断することができる	1 2 3 (4)	
	あいさつ	報告書の作成及び管理が適切にできる	1 2 3 (4)	
	返事	自分からあいさつすることができる	1 2 3 (4)	

Aさん 3回目

評価シート
 評価は以下の4段階を参考にしています。
 1...できない(できていない) 2...あまりできない(あまりできていない) 3...だいたいできる(だいたいできていない) 4...できる(できている)

大項目	中項目	小項目	具体的項目	評価		
就労面における評価	作業スキル	正確性	正確な作業ができる	1	2	3
		効率性	工夫しながら作業ができる	1	2	3
	理解力	生産性	慣れると作業スピードが上がる	1	2	3
		指示の理解	口頭での指示が理解できる	1	2	3
		スケジュールの理解	一日のスケジュールが理解できる	1	2	3
	遂行力	集中力	集中して作業に取り組める	1	2	3
		忍耐力	途中で投げ出さず、作業に取り組める	1	2	3
		判断力	自分で状況を判断しながら作業できる	1	2	3
	自己統制力	感情のコントロール	無視・反発・拒否せず、指示や注意を受け入れることができる	1	2	3
		時間の遵守	始業・就業時間を守って作業できる	1	2	3
	モチベーション	意欲	働く理由、動機がはっきりしているか、働きたいと思っている	1	2	3
		状況判断	積極的に、作業に取り組むことができる	1	2	3
	安全管理	状況判断	危険を認知し、回避することができる	1	2	3
		発想力	周りの人に危険がないよう、配慮して作業できる	1	2	3
	ネットバトル	判断力	検索キーワードを選定することができる	1	2	3
検索結果から適当と思われるサイトを選択することができる			1	2	3	
理解力		掲示板などの内容を読み、リスクレベルを判断することができる	1	2	3	
		掲示板などの閲覧(利用)方法を理解することができる	1	2	3	
対人スキル	事務力	報告書の作成及び管理が適切にできる	1	2	3	
	あいさつ	自分からあいさつすることができる	1	2	3	
	返事	返事ができる	1	2	3	

評価シート
 評価は以下の4段階を参考に行います。

1…できない(できていない) 2…あまりできない(あまりできていない) 3…だいたいできる(だいたいできている) 4…できる(できている)

大項目	中項目	小項目	具体的項目	評価
就労面における評価	作業スキル	正確性	正確な作業ができる	1 2 3 ④
		効率性	工夫しながら作業ができる	1 2 3 ④
		生産性	慣れると作業スピードが上がる	1 2 3 ④
	理解力	指示の理解	口頭での指示が理解できる	1 2 3 ④
		スケジュールの理解	一日のスケジュールが理解できる	1 2 3 ④
	遂行力	集中力	集中して作業に取り組める	1 2 3 ④
		忍耐力	途中で投げ出さず、作業に取り組める	1 2 3 ④
	自己統制力	判断力	自分で状況を判断しながら作業できる	1 2 ③ 4
		感情のコントロール	無視・反発・拒否せず、指示や注意を受け入れ入れることができる	1 2 3 ④
	モチベーション	時間の遵守	始業・就業時間を守って作業できる	1 2 3 ④
		意欲	働く理由、動機がはっきりしているか、働きたいと思っている 積極的に、作業に取り組むことができる	1 2 3 ④
	安全管理	状況判断	危険を認知し、回避することができる	1 2 3 ④
		発想力	周りの人に危険がないよう、配慮して作業できる 検索キーワードを選定することができる	1 ② 3 4
ネットハブロール	判断力	検索結果から適当と思われるサイトを選択することができる	1 2 3 ④	
	理解力	掲示板などの内容を読み、リスクレベルを判断することができる	1 2 ③ 4	
対人スキル	事務力	掲示板などの閲覧(利用)方法を理解することができる	1 2 3 ④	
	あいさつ 返事	報告書の作成及び管理が適切にできる 自分からあいさつすることができる 返事ができる	1 2 3 ④	

評価シート

評価は以下の4段階を参考にを行います。

1…できない(できていない) 2…あまりできない(あまりできていない) 3…だいたいできる(だいたいできている) 4…できる(できている)

大項目	中項目	小項目	具体的項目	評価
就労面における評価	作業スキル	正確性	正確な作業ができる	1 2 3 ④
		効率性	工夫しながら作業ができる	1 2 3 ④
	理解力	生産性	慣れると作業スピードが上がる	1 2 3 ④
		指示の理解	口頭での指示が理解できる	1 2 3 ④
	遂行力	スケジュールの理解	一日のスケジュールが理解できる	1 2 3 ④
		集中力	集中して作業に取り組める	1 2 3 ④
		忍耐力	途中で投げ出さず、作業に取り組める	1 2 3 ④
	自己統制力	判断力	自分で状況を判断しながら作業できる	1 2 ③ 4
		感情のコントロール	無視・反発・拒否せず、指示や注意を受け入れることができる	1 2 3 ④
	モチベーション	時間の遵守	始業・就業時間を守って作業できる	1 2 3 ④
		意欲	働く理由、勤続がはつきりしているか、働きたいと思っている	1 2 3 ④
		状況判断	積極的に、作業に取り組むことができる	1 2 3 ④
		発想力	危険を認知し、回避しないよう、配慮して作業できる	1 2 3 ④
	ネットハブロール	判断力	周りの人に危険がないよう、配慮して作業できる	1 2 ③ 4
		理解力	検索キーワードを選定することができる	1 2 3 ④
	対人スキル	理解力	検索結果から適当と思われるサイトを選択することができる	1 2 ③ 4
		事務力	掲示板などの内容を読み、リスクレベルを判断することができる	1 2 3 ④
		あいさつ	掲示板などの閲覧(利用)方法を理解することができる	1 2 3 ④
		返事	報告書の作成及び管理が適切にできる	1 2 3 ④
			自分からあいさつすることができる	1 2 3 ④
			返事ができる	1 2 3 ④

評価シート
 評価は以下の4段階を参考にを行います。
 1…できない(できていない) 2…あまりできない(あまりできていない) 3…だいたいできる(だいたいできていない) 4…できる(できている)

大項目	中項目	小項目	具体的項目	評価
就労面における評価	作業スキル	正確性	正確な作業ができる	1 2 ③ 4
		効率性	工夫しながら作業ができる	1 2 ③ 4
		生産性	慣れると作業スピードが上がる	1 2 ③ 4
	理解力	指示の理解	口頭での指示が理解できる	1 2 ③ 4
		スケジュールの理解	一日のスケジュールが理解できる	1 2 ③ 4
		集中力	集中して作業に取り組める	1 2 ③ 4
	遂行力	忍耐力	途中で投げ出さず、作業に取り組める	1 2 ③ 4
		判断力	自分で状況を判断しながら作業できる	1 2 ③ 4
		感情のコントロール	無視・反発・拒否せず、指示や注意を受け入れることができる	1 2 ③ 4
	自己統制力	時間の遵守	始業・就業時間を守って作業できる	1 2 ③ 4
	モチベーション	意欲	働く理由、動機がはっきりしているか、働きたいと思っている 積極的に、作業に取り組むことができる	1 2 ③ 4
		状況判断	周りの人に危険がないよう、配慮して作業できる	1 2 ③ 4
		発想力	検索キーワードを選定することができる	1 2 ③ 4
	ネットパトロール	判断力	検索結果から適当と思われるサイトを選択することができる	1 2 ③ 4
		理解力	掲示板などの内容を読み、リスクレベルを判断することができる	1 2 ③ 4
事務力		掲示板などの閲覧(利用)方法を理解することができる	1 2 ③ 4	
コミュニケーション面における評価	対人スキル	あいさつ	報告書の作成及び管理が適切にできる	1 2 ③ 4
		返事	自分からあいさつすることができる 返事ができる	1 2 ③ 4

Cさん 3回目

評価シート
評価は以下の4段階を参考にしています。

1...できない(できていない) 2...あまりできない(あまりできていない) 3...だいたいできる(だいたいできていない) 4...できる(できている)

大項目	中項目	小項目	具体的項目	評価	
就労面における評価	作業スキル	正確性	正確な作業ができる	2	③
		効率性	工夫しながら作業ができる	2	③
		生産性	慣れると作業スピードが上がる	2	③
	理解力	指示の理解	口頭での指示が理解できる	2	③
		スケジュールの理解	一日のスケジュールが理解できる	2	④
		集中力	集中して作業に取り組める	2	④
	遂行力	忍耐力	途中で投げ出さず、作業に取り組める	2	③
		判断力	自分で状況を判断しながら作業できる	2	③
		感情のコントロール	無視・反発・拒否せず、指示や注意を受け入れることができる	2	④
	自己統制力	時間の遵守	始業・反発・就業時間を守って作業できる	2	④
	モチベーション	意欲	働く理由、動機がはっきりしているか、働きたいと思っている	2	③
		状況判断	積極的に、作業に取り組むことができる	2	③
		安全管理	危険を認知し、回避することができる	2	③
	ネットパトロール	発想力	周りの人に危険がないよう、配慮して作業できる	2	②
		判断力	検索キーワードを選定することができる	2	③
理解力		検索結果から適当と思われるサイトを選択することができる	2	③	
事務力		掲示板などの内容を読み、リスクレベルを判断することができる	2	③	
あいさつ		報告書の作成及び管理が適切にできる	2	③	
コミュニケーション面における評価	対人スキル	自分からあいさつすることができる	2	③	
	返事	返事ができる	2	④	